

令和4年5月20日

令和3年度 広瀬こども園 自己評価

広瀬こども園
園長 武内秀樹

I 保育の計画性

(1) 保育目標・保育方針	16.3 / 25
(2) 保育計画	19.0 / 25
(3) 保育環境	19.4 / 25

II 保育の在り方・子ども達への対応

(1) 保育の内容・方法	17.9 / 25
(2) 食育	22.6 / 25
(3) 保育者同士の協力と連携	11.9 / 15

III 保育者としての資質や能力、良識や適性

(1) 保育教諭の役割・資質向上	18.5 / 25
(2) 保育者としての義務	20.7 / 25
(3) 組織の一員としての在り方	12.1 / 15

IV 保護者への対応・守秘義務

(1) 情報の発信と受信	15.6 / 25
(2) 対応上のマナーや良識	23.2 / 20
(3) 協力と支援	12.6 / 15

V 地域の自然や社会との関わり

(1) 地域の自然、人々との関わり	12.6 / 20
(2) 地域の機関との連携	16.1 / 20

VI 運営管理

(1) 運営管理	16.0 / 25
----------	-----------

お寺の園として日常の中でお祈りや感謝を感じ取る機会を設け「おかげさま」の心に子どもが触れることが出来る機会をもっている。

保育計画を作成し計画に沿って保育を行っており、PDCAサイクルを意識し計画と実際の活動内容が連動していると職員が感じている。新型コロナウイルス感染予防のため活動に制限があったが、感染予防を優先しながら子どもの興味に合わせた活動ができた。ただ、保育計画の共有が保育教諭、栄養士調理員間で不足しており、定期的な話し合いの場で計画を共有する必要性を感じた。

運営管理における各種マニュアルや規程の共有を進めていきたい。

これからも常に子どもを中心に考え、子どもにとって幼児期にふさわしい生活の中で、発達に必要な体験を積み重ねていくことができるよう努めていくこと。子どもたちを取り巻く状況や、これからの幼児教育の方向を見据え、現場に求められている社会のニーズを十分に把握した上で、幼児期の教育・保育の基本を捉え直すとともに、具体的な手だてを考え、質の高い教育・保育の実現にしっかりと取り組んでいくようにしていきたい。